

## 視察コース紹介

【Dコース】 11月12日(火) (半日)

「環境協力コース」

参加費： ¥8,000-

実施日	時間	行程
11月12日 (火)	午前	(08:30ホテル発) → 環水公園 → 乗船体験(～中島閘門) → 森家 → エコタウン → 「ますのすし」ミュージアム(昼食) → 富山空港 → 富山駅

### 視察ポイント:

富山市は、平成20年度に、国の「環境モデル都市」(全国で13か所のうちのの一つ)に、平成23年度には「環境未来都市」(全国で11か所のうちのの一つ)に選定されています。「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を核に、人と地球環境に優しいまちづくりを進める富山市内の関連施設を、海運で栄えた岩瀬地区～富山市内を中心にご案内します。

### 視察先紹介:

#### ①環水公園・中島閘門

古くから海運で栄えた岩瀬港と富山市街地をつなぐ「富岩運河」開削と、周辺の区画整理は、当時の一大土木事業でした。富岩運河は、200トン級の船が航行でき、途中、2.5mの水位差を調節するための中島閘門(パナマ運河方式)は、「水のエレベーター」とも呼ばれています。

環水公園は、富山の自然と富岩運河の歴史を活かした憩いと親水の公園です。視察では、太陽光発電で動く「sora」や、電気ボートの「もみじ」に乗船します。



#### ②森家

岩瀬にある森家(国指定重要文化財)は、日本海で活躍した北前船廻船問屋として多くの財をなしました。

高価な建材を使って建てられた森家は、京都の東本願寺を普請した親方を東陵に招き、3年の歳月をかけて明治11年(1878年)に建築されたもので、当時のたたずまいを残す貴重な建築物です。



#### ③エコタウン

資源循環施設の拠点であり、富山市エコタウンの核でもある『エコタウン産業団地』では、循環系の施設を集約するとともに、エネルギー利用も含め、団地内のゼロ・エミッション化を追求しています。

生ごみ、廃プラスチック、自動車、廃合成ゴム、廃食用油リサイクルなど、各種リサイクル施設を整備し、サーマルリサイクルも含めた資源循環を推進しています。

#### ④ますのすしミュージアム

ます寿司は、富山県を代表する食の名産品で、富山市中心部だけでも30以上の店舗があります。ますのすしミュージアムでは、ますのすしの歴史・製法が展示され、ガラス越しにます寿司作りの様子を見ることができます。また、館内レストランでは、ますのすしを中心とした和定食を堪能いただけます。

